

## ◎最終答申が提出されました

令和6年1月10日、教育長室において、白子町適正配置等検討委員会榊田委員長より、白子町教育委員会教育長に、最終答申が提出されました。

これは、意見交換会での保護者や地域の皆様のご意見を取り入れて、検討委員会でまとめられました。

## 白子町小学校適正配置等検討委員会から出された最終答申

令和6年1月10日

白子町教育委員会教育長 御園 正二 様

白子町小学校適正配置等検討委員会

委員長 榊田 充克

白子町立小学校の適正配置に関する具体的な方策について（最終答申）

令和4年5月27日の「白子町小学校適正配置等検討委員会」において、諮問のあった標記の件について、下記のとおり答申いたします。

### 記

1 主旨（省略）

2 具体的な小学校配置案について

- 白子町の小学校配置は、現在の3校を統合して、1校にするべきだということになりました。

### (1) 理由

- ・ 現在3校とも、各学年1学級だが、児童の減少により、2029年（令和11年）には、2学年が一緒のクラスになる複式学級になることが危惧されるため、複式学級は回避したい。
- ・ 3小学校の施設が老朽化しており、改修には、多額の費用が必要になる。

### (2) 統合時期

- ・ 複式学級になることが危惧される2029年（令和11年）以前が望ましい。

### (3) 使用校舎・場所

- ・ 校舎は、津波等の被害を受けにくい場所で、3階建以上の新築校舎。
- ・ 町の中心部。

### 【付帯意見等】

- ・ 白子町として魅力ある学校教育ができるように、計画的に教育環境を整え、充実させること。
- ・ 小中一貫教育を視野に入れ、中学校敷地内に校舎を建設すること。
- ・ 現在のきめ細やかな指導体制を維持するために、教員だけでなく、支援員等の配置を充実させること。
- ・ 津波対策、道路整備等の安全対策を講じるとともに、白子町立小学校独自の安全マニュアルを作成すること。
- ・ スクールバス等の通学手段を整備するとともに、バスロータリーや保護者駐車場を確保すること。
- ・ 統合して、廃校となった施設や跡地利用を十分考慮すること。
- ・ 保護者や地域住民の意見を十分に尊重すること。

※ 以上のような最終答申が出されました。主旨については、省略させていただきました。全文は、白子町のホームページ「適正配置等検討委員会」のページに掲載しておりますので、ご覧ください。